

■漢方でさらに深める看護の魅力 ～教育から実践まで～

看護基礎教育における東洋(漢方)医学教育の必要性

清水 夏子 (福岡県立大学 看護学部)

看護基礎教育では西洋医学に基づいた教育が実施されている。大半の看護学生は、東洋(漢方)医学教育を受ける機会がなく、漢方について誤解したまま臨床現場へ巣立っている。漢方処方が増加する中、患者を看護する看護師のたまご達に東洋医学教育の必要性をお伝えしたい。

看護基礎教育課程における漢方教育

金岡 麻希 (宮崎大学医学部 看護学科 統合臨床看護科学講座)

宮崎大学看護学科では、看護実践に必要な漢方知識を学ぶために、単に講義にとどまらず、演習を実施している。演習では、代表的な漢方薬を実際に味見し、さらに自分たちで予想した内服しやすくなると思われる方法を試している。薬物治療の理解、患者の気持ちの理解し、学習意欲の向上に有用である。

漢方教育における看護学生の意識変化を看護に生かそう

米澤 慶子 (大手前大学 現代社会学部)

2011年より看護学系漢方教育研究会を立ち上げて活動を開始する中、2017年、看護学教育モデル・コア・カリキュラムに漢方教育が導入された。ここでは、看護学生対象の授業の実際から得られた課題や、今後の指標について述べる。

漢方医学を学んだ看護師の看護実践のあり方

江口 優子 (国立看護大学校)

漢方は看護そのものだ。そのことを私に教えてくれた看護師らの語りを聞いてみませんか。それは彼らが漢方と出会い、生き生きと看護師という自分を生きるSTORYです。

富山大学の看護と漢方

四日 順子 (国立大学法人富山大学附属病院)

看護に東西はあるのか。漢方的な看護とはどういうことなのか。漢方という引き出しを持ち、その考え方を看護に活かすことで、プラスワンの看護を提供する。オーダーメイドの看護がここにある。

九州大学病院の看護と漢方

中村 優子 (九州大学病院 油症ダイオキシン研究診療センター)

カネミ油症は約55年前に起きた食中毒事件です。様々な症状に対し、早くから漢方薬を治療に取り入れてきました。九州大学病院での看護師と漢方薬の関わり、そして油症患者さんと漢方治療についてお伝えできたらと思います。